



令和3年度
女性活躍実践
アイデア大賞

株式会社 コスモ不動産

働く(働こうとする)女性が活躍できる職場環境の整備を促進するため、瀬戸内中讃定住自立圏域内(丸亀市、善通寺市、多度津町、琴平町、まんのう町)に主たる事務所を有する企業等から女性活躍に関する取り組み事例等を募集し、表彰しています。



今年度、見事大賞を受賞した「株式会社コスモ不動産」の取り組みをご紹介します。

取組内容

残業時間大幅削減!

事務処理、電話対応等を外部委託し、社員一人一人の負担を大幅に削減(一人月平均20時間程度削減)。育児・介護中の社員の時短勤務、フルタイム制を実現! これまでに男性管理職2名が育休を取得。(令和3年9月30日現在)

子育て中の女性社員への理解、配慮、フォローができる雰囲気づくり、業務の進行状況を共有できる体制づくりを心掛けている。

ITツールを活用



もともとIT化を進めていたが、コロナ禍で急加速し、様々なITツールを導入。これまで社員二人で対応していた内見もオンライン内見に移行することで、社員一人

でも対応することが可能に。

若手社員のワーク・ライフ・バランスなどにも注力

女性社員一人だけでも内見案内ができるように!



若手社員を中心に、年に数回、同業他社の優れた手法について分析・学習を行う。特に女性社員には、自社内だけでなく、他社の女性社員からも、結婚、出産などライフステージが変化しても働き続けている女性の体験や好事例を見聞きすることで、今後のワーク・ライフ・バランスをイメージしやすくする目的もあり、女性社員同士の交流会などに参加する機会を作っている。また、将来的にマネージャー職を担ってほしいという思いから20代の若手社員をサブリーダーに登用。



女性活躍実践アイデア企業顕彰についての詳しい情報は市HPまで

最後に

特集

職業に対するアンコンシャス・バイアス

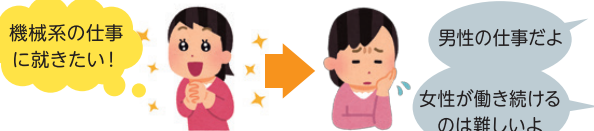


職業を選択する時の理由には、好きなことや得意なこと、安定していることなど、人によって様々です。そしてその選択は、これまでの環境や経験も関係してきます。

周囲のアンコンシャス・バイアスが本人の選択の幅を狭めているかも!

1Pにあった『将来になりたい職業について、女の子が「ITエンジニアになりたい」、男の子が「保育士になりたい」と言っていたらどのように感じ

ますか?』という質問について、女の子と男の子が小学校入学前の場合と、中学校入学前の場合では、声かけの意識が異なってくるのではないのでしょうか。子どもが将来の職業を意識し始める前に周囲から、「男性に向いている職業」、「女性に向いている職業」を聞いて育つと、自然とその考え方が基準になっていきます。しかしそれは無意識のうちには職業の選択の幅を狭めてしまうことにつながります。もしかしたら自分には向いていないかと思っていた職業が、やってみると楽しい、自分に向いていたということがあるかもしれないのに、あきらめてしまうことはもったいないですよ。



※周囲のアンコンシャス・バイアス

の進行、新型コロナウイルスの影響によって人員不足に悩む職場も少なくありません。この課題を解決するために、性別にかかわらず誰もが活躍できるようにする職場が増え、それにより持続可能な社会がつけられてくると考えられます。

これから働こうとする人の職業選択の幅を広げるためには、周囲の理解や応援も重要です。性別だけで職業の向き不向きを判断することがないよう、自分自身の偏見や思い込みについて見つけ直してみましよう。

家庭や学校の中でもアンコンシャス・バイアスは存在しています。その存在は当たり前で、否定されるものではありません。しかし、アンコンシャス・バイアスに気づくことによって、意図せず相手を傷つけてしまう事態を防ぐことができ、家族や仲間とより良い関係を築いていくことができます。